

エレクトロニクス分野 製品カテゴリー別業績（監査対象外）

売上高および営業収入	6月30日に終了した3ヵ月間		
	2002	2003	増減
オーディオ			
外部顧客に対するもの	¥ 1,615	¥ 1,422	11.9%
カテゴリー間取引およびセグメント間取引	22	11	
計	1,637	1,433	12.4
ビデオ			
外部顧客に対するもの	2,190	2,250	+ 2.7
カテゴリー間取引およびセグメント間取引	28	9	
計	2,218	2,259	+ 1.8
テレビ			
外部顧客に対するもの	2,196	1,855	15.5
カテゴリー間取引およびセグメント間取引	41	30	
計	2,237	1,885	15.7
情報・通信			
外部顧客に対するもの	2,215	1,881	15.1
カテゴリー間取引およびセグメント間取引	24	22	
計	2,239	1,903	15.0
半導体			
外部顧客に対するもの	484	531	+ 9.7
カテゴリー間取引およびセグメント間取引	426	537	
計	910	1,068	+ 17.4
コンポーネント			
外部顧客に対するもの	1,265	1,358	+ 7.3
カテゴリー間取引およびセグメント間取引	402	400	
計	1,667	1,758	+ 5.5
その他			
外部顧客に対するもの	1,302	1,176	9.7
カテゴリー間取引およびセグメント間取引	1,155	740	
計	2,457	1,916	22.0
カテゴリー間取引消去	(1,176)	(1,224)	
合計	¥ 12,189	¥ 10,998	9.8%
営業利益（損失）	2002	2003	増減
オーディオ	¥ 150	¥ 77	48.5%
ビデオ	408	282	30.9
テレビ	84	(51)	
情報・通信	7	(31)	
半導体	46	(12)	
コンポーネント	152	125	17.8
その他	(205)	(24)	
小計	642	366	43.0
配賦不能費用控除・カテゴリー間取引消去	(151)	(238)	
合計	¥ 491	¥ 128	73.9%

(注) 1. 上記の情報は「ビジネス別セグメント情報」におけるエレクトロニクス分野の売上高及び営業収入・営業利益(損失)の内訳です。ソニーの経営者はエレクトロニクス事業を単一のオペレーションセグメントとして意思決定を行っていますが、上記の情報は、当該セグメントを理解する上で有益なものであると考えています。なお、ソニーは2003年度第1四半期より、エレクトロニクス分野の製品部門区分を一部見直しました。これにともない、前年同期の実績は新区分に合わせて組み替え再表示されています。主な変更内容は下記の通りです。

主要製品	旧製品区分	新製品区分
・デジタル放送受信システム	「テレビ」	「ビデオ」
・コンピューター用ディスプレイ	「情報・通信」	「テレビ」
・液晶テレビ	「情報・通信」	「テレビ」
・ブラウン管	「コンポーネント」	「テレビ」

2. 「その他」のカテゴリー間取引およびセグメント間取引には、主としてゲーム分野に対する売上が含まれています。
3. 「売上高および営業収入」における「外部顧客に対するもの」以外の金額情報は、米国会計原則にもとづいて開示しているものではありません。製品カテゴリー別の「営業利益（損失）」には、エレクトロニクス分野全体における費用の配賦計算（為替予約実現損益を含む）が反映されています。この費用の配賦計算は、米国会計原則にもとづいて行っているものではありませんが、業績情報を提供するにあたって合理的なものであるとソニーは考えています。